

令和5年度 仙台市障害者相談支援事業所 運営自己評価について

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者相談支援事業を受託する市内16事業所が、全73項目で構成される「自己評価チェックシート※（以下、チェックシートという）」を基に、相談支援の実施状況について振り返る、「運営自己評価」を実施。</li> <li>・これにより課題を見出し、改善に取り組むことで、相談支援や運営の質の向上、ひいては相談支援への還元などを目的に実施している。</li> <li>※ケアマネジメントの基本を確認する項目や、自立支援協議会や地域啓発、権利擁護や差別解消などに関するアウトリーチを確認する項目などで構成。</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者支援課（事務局）</li> </ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者相談支援事業を受託する市内16事業所（以下、「事業所」という）に所属する職員。</li> </ul>
実施方法	<p>1 運営自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度11月～1月にかけて、事業所ごとに、チェックシートに照らし運営自己評価を実施。</li> <li>・評価にあたっては、事業所の全職員により行うこととしている。</li> </ul> <p>2 自己評価を共有する会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記運営自己評価について、事業所の共通課題（点数の低い評価項目）に対し、改善策の検討、良い取り組みの共有などを目的に開催する。内容は以下のとおり。</li> </ul> <p>①自己評価の意義や効果等に関する講義      東北福祉大学総合福祉学部 三浦剛教授          ②令和5年度自己評価結果についての説明      仙台市障害者支援課          ③グループワーク※      評価研修部会委員がファシリテーター          ④講評      東北福祉大学総合福祉学部 三浦剛教授</p> <p>※今年度のグループワークでは、昨年度アンケート調査結果を踏まえ、グループワークテーマを絞り込みつつ、テーマに対する協議時間を見直した。          グループワークテーマ：“地域啓発”，“リスクマネジメント”</p> <p>3 アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所ごとの課題解決に向けた具体的な取り組みを検討し、「アクションプラン」を策定する。</li> <li>・年次には中間振り返りを実施し、進捗状況を確認する。</li> </ul> <p>4 課題解決に向けた事業所の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランに基づき、課題解決に向けた取り組み（自立支援協議会への参画や合同事例検討会など）やピア研修（事業所同士の学び合い）など、翌年度以降にかけて実施していく。</li> </ul>